

平成 30 年 6 月 24 日

国立研究開発法人「科学技術振興機構（JST）」社会技術研究開発センター（RISTEX）

研究開発領域「安全な暮らしを作る新しい公/私空間の構築」

「多専門連携による司法面接の実施を促進する

研修プログラムの開発と実装」（研究代表者：仲真紀子）主催

四天王寺大学 人文社会学部 准教授

田中 晶子

立命館大学 総合心理学部 准教授

安田 裕子

立命館大学 総合心理学部 教授

仲 真紀子

### 「司法面接の前・中・後における子どもへの支援・ケアに関する検討会」のご案内

青葉の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より研究事業活動について多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。標記の検討会について、次の通りに開催いたします。被害にあった子どもへの司法面接における支援の在り方に関心をお持ちの実務家の皆様にご参加いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、本検討会は「司法面接と並行して行える支援・ケア」について考える検討会です。プロトコル習得のための司法面接研修とは内容が異なります点、どうぞご留意ください。

#### 記

1. 名称 「司法面接の前・中・後における子どもへの支援・ケアに関する検討会」
2. 企画 田中 晶子（四天王寺大学 人文社会学部 准教授）  
安田 裕子（立命館大学 総合心理学部 准教授）  
上宮 愛 （立命館大学 OIC 総合研究機構 専門研究員）
3. 日程 平成 30 年 7 月 29 日（日）9：00－17：00
4. 場所 立命館大学大阪いばらきキャンパス C271・C272 ラーニングスタジオ  
（〒567- 8570 大阪府茨木市 岩倉町2-150）
5. 対象 児童相談所職員，弁護士，検察官，警察官，医療関係者等  
司法面接や司法面接の前後の子ども支援に携わっておられる方
6. 定員 20 名程を予定
7. 費用 無料（昼食をご用意いたします）。

\*交通費等は参加者側での負担をお願いいたします。

## 検討会の趣旨について

平成 27 年 10 月に厚生労働省・検察庁・警察庁から、協同面接の通達が出され、各地で協同面接の取組が進められております。しかし、協同面接（司法面接）は、被害にあった子どもを支援する過程の 1 つの点でしかなく、協同面接の前後も含めた子どもへの支援を充実させることが重要です。そのためには、司法面接のスキルの習得にとどまらず、1) 子どもの安心・安全感を保ちながらどのように司法面接へとつなげるか（司法面接の前の支援）、2) 被害にあった子どもに対し、司法面接の中で支援する働きかけとして可能なものはないか（司法面接中の支援）、そして、3) 司法面接後に子どもをどのように支えその後の専門的なケアへとつなげるのか（司法面接の後（短期）の支援）というように、一連の流れを持った観点からの検討も重要であると私たちは考えています。

今回は、上記のような課題について関心をお持ちの先生方とともに、子どもの安心感の確保と多職種による面接チームの在り方についての議論を行い、架空事例を使って情報共有から面接計画の策定、面接の実施といった多機関での連携の流れを体験していただく検討会を準備いたしました。被害にあった子どもの支援に携わっておられる実務家の皆様とともにより良い支援のあり方について検討する場したいと思います。なお、今回の検討会の趣旨は、司法面接プロトコルの習得を目指すものではなく、あくまで司法面接の前・中・後における支援の在り方に関する検討に重きを置くものです。関心をお持ちの先生方のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。

## 検討会内容について（予定）

### ◆平成 30 年 7 月 29 日（日）9：00－17：00

午前 参加者紹介・趣旨説明・司法面接とチーム対応（多機関連携）について  
司法面接の前・中・後において留意すべき支援のポイントに関する話題提供、  
およびグループディスカッションと全体共有

\* ランチタイム（参加者交流）

午後 司法面接の計画と実践  
面接ロールプレイ「不安の高い子ども」への面接体験と振り返り  
質疑とまとめ

### ◆グループディスカッションについて

個別事例における司法面接プロトコル習得や適否についての検討ではなく、司法面接プロトコルの知識をベースに多機関で司法面接を行うに際して子どもへの支援をどう織り込むかに関する情報やご経験・お考えを共有する目的で行います。なお、本検討会の参加者はすべて守秘義務を課された職種の方のみに限定されております。

### ◆面接ロールプレイについて

架空の事例を用いて、①情報を共有し、②面接計画を立て、③面接を実施します。面接は、実際にビデオ録画を行い、振り返りは、その録画されたビデオを観ながら参加者全体で行います。今回は不安の高い子どもに対する面接を体験し、子どもへの支援・ケアと事実確認の両立を考えることが目的です。被面接者（子ども）役は、検討会参加者とは別にご協力いただく予定です。

## 対象者と定員

- ◆ 本検討会は、既に司法面接研修の受講経験がある（あるいは、実務で司法面接を使用しておられる）実務家の方を対象としております。特に、子どもへのケアと事実確認（司法面接）の連携に関心をお持ちの方を優先いたします。対象となる職種は、検察官、警察官、弁護士、児童相談所職員、医療関係者等です。
- ◆ 午前・午後のプログラムすべてにご参加いただける方が対象となります。
  - \*定員の都合により、参加希望を提出された全ての方に参加していただけない場合もございます。
  - その場合は、申し訳ありませんがご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。参加の可否のご連絡は7月中旬にメールにてご連絡する予定です。

## 会場

- ◆立命館大学大阪いばらきキャンパス C271・C272 ラーニングスタジオ  
(〒567- 8570 大阪府茨木市 岩倉町2-150)  
<アクセス> <http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/oic/>  
<フロアガイド> (5 ページをご覧ください)  
[http://www.ritsumei.ac.jp/community\\_affiliations/file/N59\\_08.pdf](http://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/file/N59_08.pdf)

## お申込み方法

- ◆各機関にて参加希望者に関する下記の情報をお取りまとめのうえお申込みください。  
**締切：平成30年7月7日（土）**

- - - - - 申し込みに必要な情報 - - - - -

お名前：

ご所属：

職務内容：

司法面接研修歴：研修名 研修年度 年 受講回数 回

連絡先（メールアドレス、もしくは、電話/FAX 番号）：

参加の動機（ケアと司法面接の連携についてのお考え等）

- - - - -  
必要な情報を [fi.childcare2014@gmail.com](mailto:fi.childcare2014@gmail.com) まで  
お送りください（件名：H30 年度検討会 参加希望）。

お問い合わせ先

**四天王寺大学 人文社会学部 准教授 田中 晶子**

〒583-8501 羽曳野市学園前 3-2-1

TEL: 072-959-2482

\*電話対応可能な時間が限られますため、できるだけ以下

事務局メールアドレスまでお問い合わせください。

**検討会事務局（担当：中野 知子）**

E-mail: [fi.childcare2014@gmail.com](mailto:fi.childcare2014@gmail.com)